



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月1日
東

上場会社名 株式会社 デサント 上場取引所
 コード番号 8114 URL http://www.descente.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石本 雅敏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役スタッフ管掌 (氏名) 辻本 謙一 (TEL) 06-6774-0365
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	92,850	△4.1	5,539	△25.5	5,907	△23.4	4,176	△27.6
28年3月期第3四半期	96,828	12.2	7,434	40.2	7,711	35.2	5,770	39.4

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △1,206百万円(—%) 28年3月期第3四半期 3,425百万円(△32.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	55.43	—
28年3月期第3四半期	76.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	101,482	67,260	66.3
28年3月期	107,624	69,748	64.8

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 67,260百万円 28年3月期 69,748百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	130,000	△4.3	8,000	△22.9	8,100	△26.7	5,500	△30.1
								73.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	76,924,176株	28年3月期	76,924,176株
29年3月期3Q	1,586,775株	28年3月期	1,586,731株
29年3月期3Q	75,337,435株	28年3月期3Q	75,337,631株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
海外売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高は92,850百万円（前年同四半期比4.1%減）、営業利益は5,539百万円（前年同四半期比25.5%減）、経常利益は5,907百万円（前年同四半期比23.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,176百万円（前年同四半期比27.6%減）となりました。

当社グループは、平成28年5月10日に2020年度に目指す姿「VISION 2020」と、その達成に向けた当期を初年度とする中期3ヶ年経営計画「Compass 2018」を発表しました。その達成に向けて、グローバルレベルでの一貫性のあるブランド戦略の構築、競争力の源泉である「モノを創る力」、自主管理店舗推進のための「売場を創る力」の向上、更にそれらを支える経営インフラとロジスティクス体制の整備等を重点戦略として取り組んでいます。数値目標としては2018年度に売上高1,700億円、経常利益140億円、親会社株主に帰属する当期純利益100億円、2020年度に売上高2,000億円、経常利益160億円としています。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

(セグメント別売上高)

セグメントの名称	売上高(百万円) (前年同四半期比)	セグメント利益又は損失(百万円) (前年同四半期比)
日 本	41,689 (100.7%)	1,271 (136.3%)
ア ジ ア	48,651 (90.7%)	4,623 (70.3%)
欧 米	2,509 (142.9%)	△391 (前年同四半期△24百万円)
調 整 額	—	36 (前年同四半期△48百万円)
合 計	92,850 (95.9%)	5,539 (74.5%)

(日本)

アスレチックウェアは「デサント」を中心に順調に推移しましたが、ゴルフウェアとアウトドアウェアでは若干苦戦しました。全体として売上高は前年実績を若干上回りました。損益面では売価率の改善により前年を上回りました。

(アジア)

現地通貨ベースでは、各国およびブランドにばらつきはあるものの、韓国においては「デサント」ブランド、中国においては「アリーナ」、香港とシンガポールにおいては「ルコックスポルティフ」と「アリーナ」を中心に概ね堅調に推移しました。邦貨ベースでは、為替における円高基調が大きく影響し、売上高、利益ともに前年を下回りました。

(欧米)

前第3四半期連結会計期間よりイノヴェイトグループの業績を含めたことに伴い、売上高は増加しましたが、のれん償却に伴う販管費が増加したため損失は拡大しました。

品目別売上高の状況は次のとおりであります。

(品目別売上高)

区 分	金 額 (百万円)	構 成 比 (%)	前年同四半期比 (%)
アスレチックウェア及びその関連商品	60,304	65.0	95.4
ゴルフウェア及びその関連商品	25,105	27.0	98.8
アウトドアウェア及びその関連商品	7,440	8.0	90.7
合 計	92,850	100.0	95.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(アスレチックウェア及びその関連商品)

「デサント」では、アジアでの事業拡大を目的とし、当社の関連会社である「Descente (China) Co., Ltd」が中国一号店である「DESCENTE Shop Changchun Charter Shopping Center (デサント ショップ チャンチュン ショッピング センター)」を8月に中国・長春市にオープンしました。また9月にはさらに2店舗オープンさせ、アジアでの事業拡大を進めています。「ルコックスポルティフ」では、世界三大スポーツイベントの1つでサイクルレースの最高峰である「ツール・ド・フランス」について、2017年からの5年間に渡るオフィシャルスポンサー契約を更新し、毎年6～7月に行われるツール・ド・フランスで「ルコックスポルティフ」ブランドのリーダージャージを提供するほか、アジア各国においてオフィシャルウェアの企画と販売も引き続き行います。「アリーナ」では当社とアドバイザリー契約を締結している瀬戸大也選手(JSS毛呂山/早稲田大学所属)が第13回世界水泳選手権大会(25m)において400m個人メドレーで大会三連覇を達成し、ブランド価値向上に、また中国では、契約選手の第31回オリンピック競技大会(2016/リオデジャネイロ)での活躍もあり売上拡大に貢献しました。

(ゴルフウェア及びその関連商品)

「ルコックスポルティフ」では契約選手であるイボミプロが日本国内女子ツアーにおいて2年連続の賞金女王となるなど引き続き好調で、ブランド価値の向上に貢献しています。また、2016年春夏から国内においてスタートさせた「スリクソン」ブランドでは松山英樹プロのゴルフワールドカップサプライモデルの発売をするなど松山プロのイメージを活用し、順調に売上を伸ばしております。2015年春夏からスタートした「デサントゴルフ」も国内と韓国で店舗展開を推進し、売上を伸ばしています。

(アウトドアウェア及びその関連商品)

国内市場においては、「デサント」のスキーウェアおよび「マーモット」の売上は前年を下回りました。また、韓国においては「デサント」のスキーウェアが堅調に推移しました。

その他のトピックスとして、当社は2017年2月15日開催予定の臨時株主総会において承認可決されることおよび必要に応じ所轄官庁の許認可が得られることを条件に、2017年4月1日を効力発生日として会社分割方法によりグループ組織再編を行います。本グループ組織再編は①グローバルでのブランド価値向上、②「現地適応型」のグローバル化推進、③日本事業の再構築と強化を目的としています。詳細については2016年12月26日に「当社子会社との会社分割(吸収分割)契約締結および定款の一部変更(事業目的の一部変更等)に関するお知らせ」にて公表しています。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況に関する分析)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は101,482百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,141百万円減少致しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ5,768百万円減少し、69,172百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少8,150百万円、受取手形及び売掛金の減少1,153百万円、商品及び製品の増加3,912百万円などによるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ372百万円減少し、32,310百万円となりました。これは主にのれんの減少1,040百万円などによるものです。

負債合計は前連結会計年度末に比べ3,653百万円減少し、34,221百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加782百万円、未払法人税等の減少1,791百万円などによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ2,487百万円減少し、67,260百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定の減少5,435百万円、利益剰余金の増加2,895百万円などによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.5%増の66.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、2020年度に目指す姿「VISION 2020 ～First in the market～」の達成に向け、中期3ヶ年経営計画「Compass 2018」を着実に実行し、グループ全体での事業拡大を積極的に進めていきます。

通期連結業績予想につきましては、平成28年11月1日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社について、税金費用は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、当該連結子会社の法人税等は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,006	17,855
受取手形及び売掛金	20,787	19,633
商品及び製品	22,616	26,529
仕掛品	92	140
原材料及び貯蔵品	788	962
その他	4,740	4,131
貸倒引当金	△89	△79
流動資産合計	74,941	69,172
固定資産		
有形固定資産	15,730	16,437
無形固定資産		
のれん	3,202	2,161
その他	5,050	4,166
無形固定資産合計	8,253	6,328
投資その他の資産		
その他	8,788	9,646
貸倒引当金	△89	△101
投資その他の資産合計	8,699	9,544
固定資産合計	32,682	32,310
資産合計	107,624	101,482
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,002	17,784
1年内返済予定の長期借入金	367	371
未払法人税等	2,005	214
賞与引当金	863	523
返品調整引当金	1,160	1,212
その他	6,704	5,279
流動負債合計	28,103	25,386
固定負債		
長期借入金	5,394	4,549
退職給付に係る負債	1,279	1,295
その他	3,098	2,990
固定負債合計	9,772	8,835
負債合計	37,875	34,221

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,846	3,846
資本剰余金	25,184	25,184
利益剰余金	36,978	39,873
自己株式	△672	△672
株主資本合計	65,336	68,231
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	744	775
繰延ヘッジ損益	13	△79
為替換算調整勘定	4,001	△1,434
退職給付に係る調整累計額	△346	△232
その他の包括利益累計額合計	4,411	△970
純資産合計	69,748	67,260
負債純資産合計	107,624	101,482

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	96,828	92,850
売上原価	42,007	40,974
売上総利益	54,821	51,875
返品調整引当金繰入額	157	51
差引売上総利益	54,663	51,823
販売費及び一般管理費	47,229	46,284
営業利益	7,434	5,539
営業外収益		
受取利息	248	91
受取配当金	79	82
持分法による投資利益	148	98
為替差益	—	162
その他	186	115
営業外収益合計	663	551
営業外費用		
支払利息	62	69
固定資産除却損	48	92
為替差損	271	—
その他	2	20
営業外費用合計	385	183
経常利益	7,711	5,907
税金等調整前四半期純利益	7,711	5,907
法人税、住民税及び事業税	2,240	1,473
法人税等調整額	△299	257
法人税等合計	1,940	1,731
四半期純利益	5,770	4,176
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,770	4,176

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	5,770	4,176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56	30
繰延ヘッジ損益	55	△92
為替換算調整勘定	△2,503	△5,273
退職給付に係る調整額	30	114
持分法適用会社に対する持分相当額	16	△162
その他の包括利益合計	△2,345	△5,382
四半期包括利益	3,425	△1,206
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,425	△1,206

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	欧米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	41,405	53,667	1,755	96,828	—	96,828
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,664	72	32	2,769	△2,769	—
計	44,069	53,740	1,787	99,597	△2,769	96,828
セグメント利益又は損失	932	6,574	△24	7,482	△48	7,434

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△48百万円には、セグメント間取引消去32百万円、棚卸資産の調整額△80百万円を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	欧米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	41,689	48,651	2,509	92,850	—	92,850
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,445	113	110	2,669	△2,669	—
計	44,134	48,765	2,619	95,519	△2,669	92,850
セグメント利益又は損失	1,271	4,623	△391	5,503	36	5,539

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額36百万円には、セグメント間取引消去24百万円、棚卸資産の調整額11百万円を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

(単位:百万円、%)

	アジア	北米	欧州 その他の地域	計
I 海外売上高	55,007	1,257	1,241	57,506
II 連結売上高				96,828
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	56.8	1.3	1.3	59.4

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

(単位:百万円、%)

	アジア	北米	欧州 その他の地域	計
I 海外売上高	49,990	1,417	1,920	53,327
II 連結売上高				92,850
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	53.8	1.5	2.1	57.4

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。